

太陽と大地の恵み砂糖～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～

政策統括官付地域作物課

開催日：令和元年11月18日(月)～11月22日(金)＜5日間＞開催

来場者：756人

内容：砂糖は私たちが生活する上で欠かすことの出来ない食品であり、日本の食料自給率の維持にも大きく寄与しています。ひと口に砂糖といっても、その形、色、風味も様々です。展示では、バラエティ豊富な砂糖とその特性をご紹介するとともに、原料のさとうきびやてん菜が地域経済や雇用などを支えていることを紹介します。皆様に砂糖を購入いただくことにより、甘味資源作物生産農家や国内産糖の製造工場を支援することにつながる価格調整制度の仕組みを分かりやすく紹介し、制度への理解を深めていただきました。



「砂糖クイズ」で、砂糖に関する知識を深めていただきました。



展示の様子です。
「わた菓子作り体験」、「氷砂糖のプレゼント」なども通じて、味覚の面でも砂糖の良さを実感していただきました。



「わた菓子」作り体験です。連日、沢山の方に楽しんでいただきました。



各種砂糖や砂糖から出来た製品の数々です。



砂糖の原料の一つである「てん菜(レプリカ)」です。本物そっくりでした。